

自分史作成のための記憶の想起支援システム

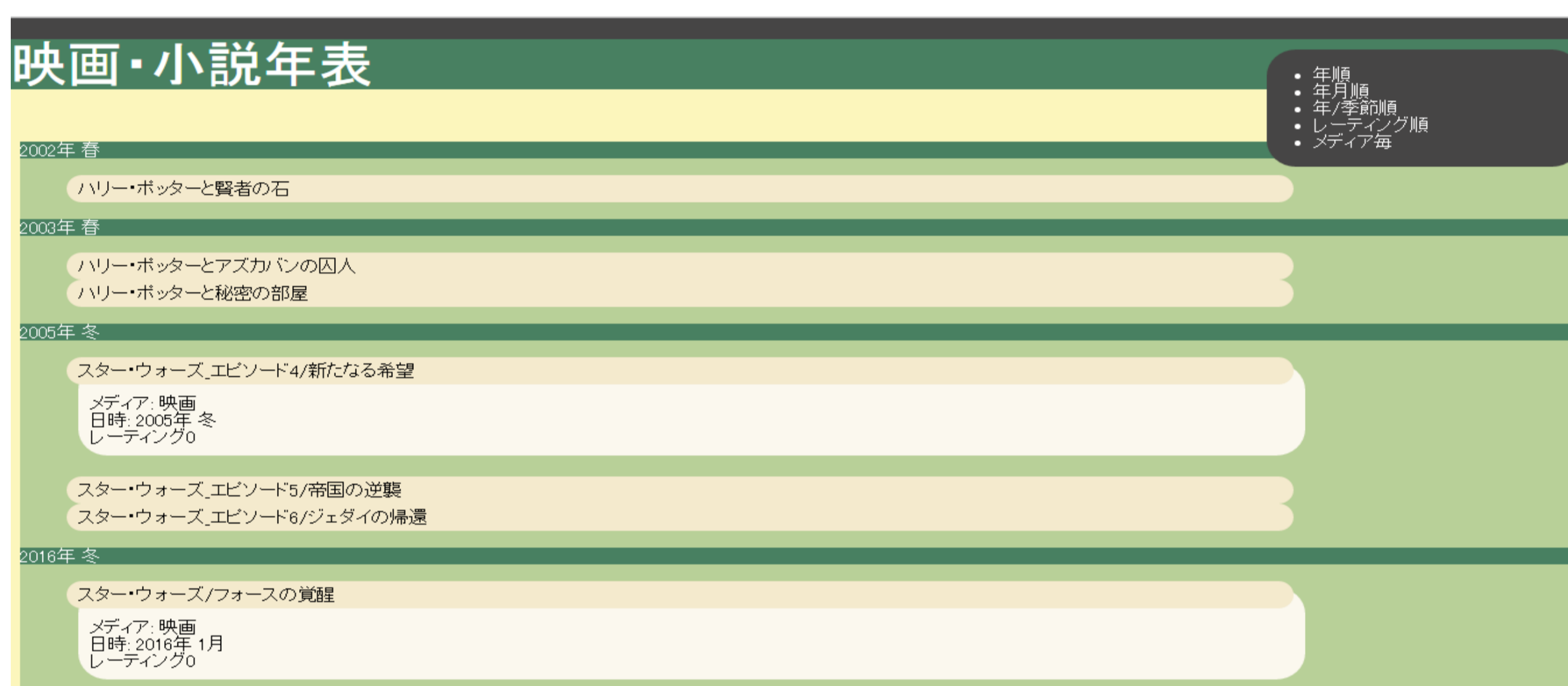
情報・通信工学科 情報数理学コース 寺田研究室
1211196 山本愛美



◆概要

人間の生活体験を電子的に記録する技術であるライフログ。

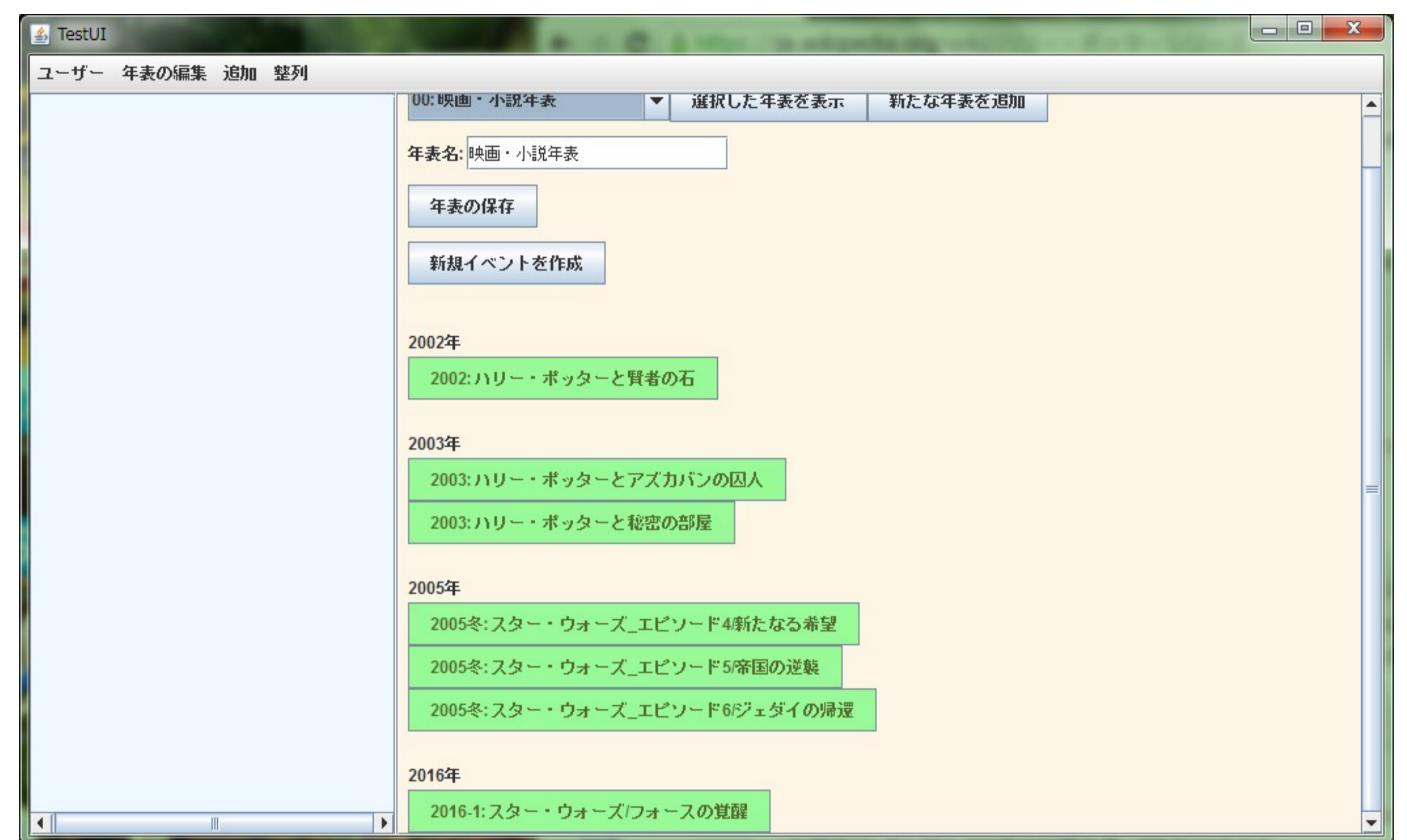
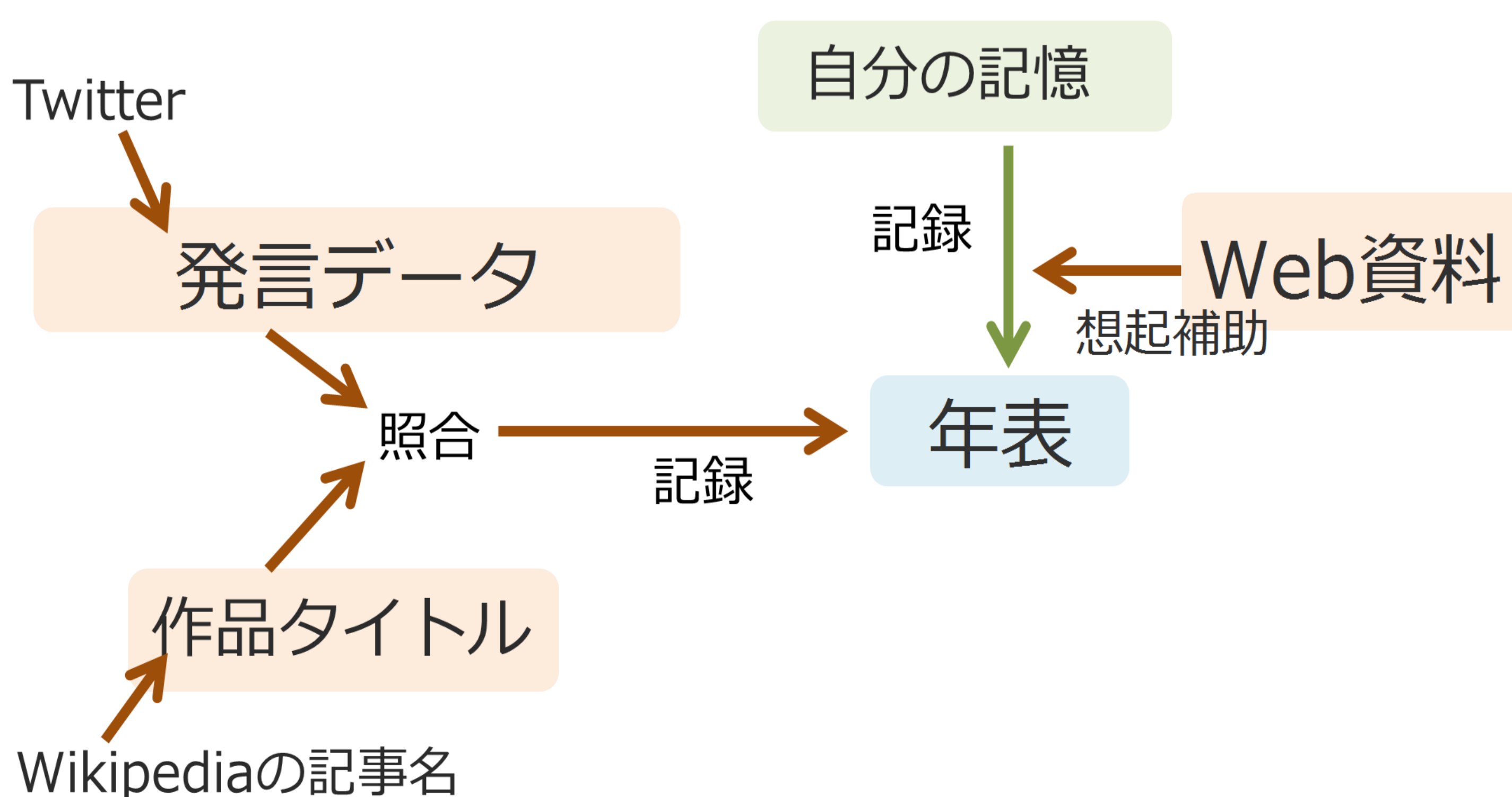
本研究では小説や映画についての記録を中心に、過去を振り返って記録することが可能なライフログの提案を行っています。



◆提案システム

過去に触れた小説や映画について記録する際、その作品に触れたのが過去であればあるほど思い出すのは難しくなっていきます。

本システムではTwitterの発言データを利用することにより、どのような作品について発言したのか照合を行い、おぼろげな記憶からでも自分史を作成することができます。



◆評価実験

本システムの評価実験として、被験者のTwitterの発言データとWikipediaから作成した作品名データベースより、「発言したことのある作品」の自動推定を行いました。

「被験者が知っている」と推定された作品の内、アニメと映画について各20作品のタイトルを見せ、その内本当に知っている作品の割合を質問した結果、以下のような結果が得られました。

表1 推定作品に対する被験者の実際の知識[%]

メディア	見た	知っている	知らない
アニメ	66	23	11
映画	11	18	72

アニメと映画の間で推定の正解率に差が出ています。これは、本システムでは発言データに作品名が含まれるか否かにより推定を行っているため、一般的な単語が多い映画作品のタイトルでは一般的な発言が意図せず抽出されるケースが多いためであると考えられます。